鐵鑄物改善に關する部會廣告

來る十一月下旬大阪市に於て日本鐵鋼協會第四回講演大會の開催せらるるを機とし同月廿八、廿九兩日同地に於て鐵鑄物改善に關する研究部會を催し下記の二件に付研究討議を重ね度候間有志の諸君は奮つて御來會相成度候。

題　目 一　鑄鐵の試驗法及規格に關する件。
　　　　 二　熔銑爐及其操業に關する件。

備　考　會議の進行を滑かならしむるが爲め前記題目中當日討議すべき主要なる問題を別表の如く選擇し豫め四、五の諸君に其研究調査を托し置き當日先づ此等の諸君に發表を請ひ之に付質問討議をなしたきに付諸君に於ても成る可く研究ありたきこと

又兼て蒐集せる本邦主要工場の熔銑爐數十基の各部の大さ及操業法を表に作製し之を當日の來會者に頒つこと。

會合者、日本鐵鋼協會々員は勿論會員外有志の來會を歡迎す。

手　續、出席希望の諸君は十月卅一日までに住所、氏名、身分等を記して日本鐵鋼協會或は京都帝國大學齋藤大吉宛申込むこと。

會　費、不要。

日　時、十一月廿八日、廿九日午前九時より。

會　場、大阪市西區新町一丁目、大阪鐵工業會館三階。

熔銑爐に關する研究題目

1. 熔銑爐の直徑と高さ（羽口水準と裝入口との距離）との關係、
2. 羽口比（羽口水準に於ける爐の面積と羽口總面積との比、）
3. 熔銑爐の直徑、高さ、羽口比と風壓及風量との關係、
4. 熔融帶の高さと爐の構造及操業法との關係、
5. 前床なき爐に於て爐の深さ（羽口水準と爐底との距離）と熔銑の化學的成分の變化及溫度との關係（炭素及硫黃の吸收）
6. 前床ある爐に於て適當なる爐の深さ、
7. 羽口の列數、

8. 風量の測定方法、

9. 熔銑爐中に起る化學的變化、(炭素、珪素、滿俺、硫黄等)

10. 熔銑の過熱と爐の操業法との關係、

11. 熔銑爐の裏付煉瓦の選擇、(殊に高熱熔融に於て)

12. 熔銑爐用送風機の選擇、

13. 骸炭比、(銑鐵と骸炭との比)

鑄鐵の規格に關する研究題目

1. 抗張試驗

a.) 成るべく簡單なる方法により正確なる試驗結果を得るに如何なる裝置及方法を選ぶべきや、

摑みの種類、加重速度、

b.) 試驗片の仕上げ寸法

直徑、並行部の長さ、摑み間の距離、摑みの太さ、

c.) 試驗棒の鑄造方法及鑄込み寸法(試驗片は本體と共鑄

鑄造寸法、縱注ぎ或は橫注ぎ、湯口の太さ、

2. 抗折試驗

a.) 成るべく正確なる試驗結果を得るが爲めには如何なる裝置及寸法を選ぶべきや、

枕及加重點の形狀、加重速度、撓み量の測定方法、

b.) 試驗片の大さ、

黑皮或は仕上げ、斷面の形狀及寸法、支點距離及全長

c.) 鑄造方法及鑄込み寸法

縱注ぎ或は橫注ぎ、寸法、湯口の太さ、

3. 抗張試驗と抗折試驗との關係

a.) 抗折力の標準計算方法、

b.) 一定荷重に於ける撓み量測定による材質檢査の適否(例—水道鐵管)

c.) 抗張力と抗折力との比

4. 硬度試驗

a.) 標準方法、

b.) 試驗片の寸法及試驗個所